

# ハ 窒素酸化物排出量の算定方法

自動車からの窒素酸化物排出量は次式により算出した。

$$\begin{matrix} \text{窒素酸化物排出量} & = & \text{交通量} & \times & \text{排出係数} & \times & \text{リンク長} \\ (g/h) & & (台/h) & & (g/km \cdot 台) & & (km) \end{matrix}$$

表 - 1 8 面源と線源の分類

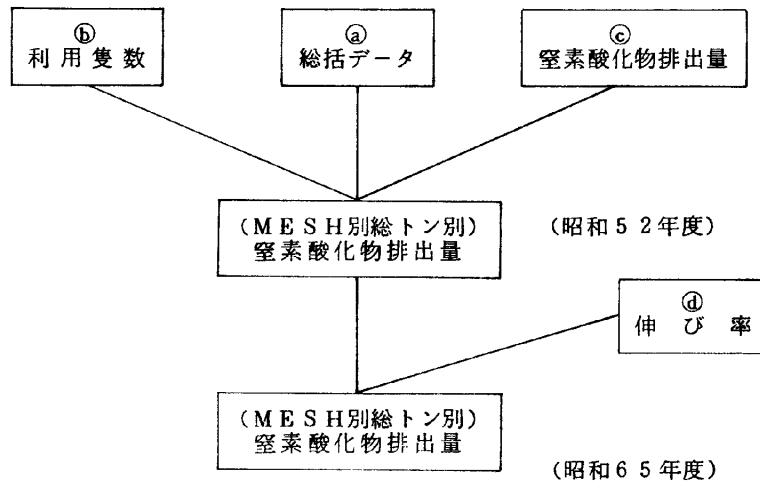
基 準	面 源	線 源
道 路 種 別	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 主 要 地 方 道</li> <li>◦ 一 般 県 道</li> <li>◦ 市 町 村 道</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◦ 高 速 道 路</li> <li>◦ 国 道</li> </ul>
1 日 あ た り の 交 通 量		◦ 5,000 台 / 日 以 上
デ ー タ 数	3,325	1,830

注 1日あたりの交通量で判定することは、例えば線源の場合道路種別が高速道路及び国道以外でも日交通量が5,000台以上の場合は線源扱いとすることである。

## 2) 船 舶

船舶から排出される窒素酸化物の汚染状況をは握するために、船舶の利用隻数や窒素酸化物排出量を調査し、これらのデータを用いて算定した。

図 - 2 データの流れ



- 総括データ
- 行政区画コード
- 対象基準メッシュ
- 総トン別利用
- 港湾コード, 船
- 総トン別窒素酸
- 港湾コード, 船
- 伸び率
- 昭和52年度
- じて算出した。
- イ 窒素酸化物排出量
- 昭和52年度の船
- いるので、これらの
- ロ 窒素酸化物排出量
- 昭和65年度の窒
- 乗することによって

港湾種別
漁
工業

注 宮城県新長  
額の伸び率